

樹木医研修の案内

日本樹木医京都支部及び京都樹木医会共催

樹木医研修 椿（散椿）の樹勢回復 1（根系観察・土壌改良施工）

日時：令和5年12月3日（日） 9：00-15：00（雨天決行※雨天時には内容の変更があり得ます）

場所：駒井萬葉園（京都市北区大宮
薬師山西町13-2）

行き方（公共交通機関）

北大路駅（地下鉄）-北大路バスターミナル（1西賀茂車庫行）-山ノ前町バス停下車-徒歩約9分（圃場入口に「駒井萬葉園立入禁止」の看板有）

（車・バイク）圃場内に駐車可能です



研修内容（CPD申請予定）：

圃場（駒井萬葉園）内の樹勢が劣化している椿を対象に、樹勢回復を目的として、参加樹木医による根系観察と土壌改良の施工を行う。根系観察は土壌改良の施工区（2023年4月施工）と無施工区とで掘り取りを行い比較観察する。土壌改良は無施工区で約1m×約2m×約0.9mの範囲を対象に土壌の掘り取り・改良を行う（ユンボ、エアスコップ、手掘り）。

本研修後に令和6年以降も効果検証（継続観察）・追加対策等の研修を実施する予定です。

講師 *駒井正治 椿の生態、樹木診断 *平川 法義、 剪定及び土壌改良、

*須賀井 利之根系調査、診断 エアスコップにて

持ち物及び服装：

メモ、手袋、根掘り道具、作業服等汚れても良い服装（エアスコップを使用します。用意できる方は、帽子かヘルメット・マスク・ゴーグル・首に巻くタオル等も）

椿の履歴：

京都市北区柘野には京都市天然記念物の柘野奥村家五色八重散椿があり、その他に大椿が2本あります。そのうちの1本で推定樹齢300年以上。

個人宅に生育していた椿を、約30年前に根回しをして圃場に移植。2-3年後寒冷紗による採光調整のちに取り外し一部土壌入れ替え 黒ボク土、真砂土、改良土を入れるが、ここ5年ほどで急激に頂部が枯れ始め、今年4月初旬に土壌改良として自家製酵母菌入りのバークを2箇所（施工区）入れ替えて現在にいたる。

集合場所&当日連絡先：

集合場所 駒井萬葉園：京都市北区大宮薬師山西町13-2（075-491-0569 ナビでは南西側からのアクセスで表示されますが、東側（上記地図参照）の圃場入口からアクセスしてください）

当日連絡先 平川携帯（090-9600-2855）、駒井携帯（090-9052-1919）



